

安井小学校校舎改築推進委員会（第3回）

■日時 平成29年3月21日(火) 午後5時30分～

■場所 安井市民館 会議室

■議題

1. 児童数推移と事業工程の確認
2. 運動場拡幅の検討
3. アスベストによる工期の影響
4. 仮設校舎の防音仕様
5. 体育館への空中通路の設置
6. 今後の予定について

■議事

1. 児童数推移と事業工程の確認

<説明内容>

- ・前回までの推進委員会では、校舎を北側配置にすることと、1期案で進めていくことが、方針としてまとまりつつある。
- ・今後の流れとしては、平成29年度中に計画を策定し、設計に入りたいと考えている。平成29年度の工程としては、近隣説明会を3回程度開催し、その結果を推進委員会に持ち帰り、併せて教職員説明会を行った上で、基本計画の案を8月に決めたい。

2. 運動場拡幅の検討

<説明内容>

- ・地区計画による高さ12m制限があり、基本的には3階建てまでしか建てられないが、運動場について様々なご意見をいただいたことから、一部4階建て案を検討した。
- ・4階部分にはプールのみ、もしくはプールと特別教室を乗せれば、現況より運動場が広がるものの、特例許可が必要になるため、近隣にお住まいの方の理解が必要になる。
- ・3階建て案でも、現況より運動場は広がるが、4階建て案の場合はさらに広げることが可能。
- ・事業リスクとして、特例許可を得るには建築審査会で同意を得る必要があるが、同意が得られなければもう一度、設計からやり直すことになるため、約1年スケジュールが遅れてしまうことが挙げられる。
- ・地下の設置についても検討したが、採光等の建築基準法上の制約があり、倉庫か給食室しか配置できない。児童の配膳動線からすると、給食室を地下に配置してしまうと、普通教室を2階までに配置することになり、地下を設置するメリットがあまりない。また、宮水の対策で工期が約4ヶ月、費用も2億3,000万円ほど上乗せになる見込み。

3. アスベストによる工期の影響

<説明内容>

- ・校舎外壁の塗装材について、昨年11月に調査を行ったところ、西棟の南側、北棟の西端から3分の2程度、東棟全体からアスベストの含有が確認された。
- ・アスベストが飛散しないよう、安全に剥離してから校舎を解体するため、当初の予定より運動場整備の完了時期が遅くなるが、平成34年11月に開催としていた運動会については、運動場の整備を2期にわけること、11月下旬には開催できるよう検討を

行った。また、運動場整備の1期目に運動会の練習が可能であれば、運動会自体を11月上旬に開催できる可能性がある。ただし、工事を2期に分けるため、全体の工事期間が長くなってしまう。

4. 仮設校舎の防音仕様

<説明内容>

- ・前回の推進委員会において、南側に仮設校舎や新校舎を建てた場合の、JRによる音の影響についての質問をいただいたので、実際に敷地の南側にある、現育成センターの2階で、早朝に音の測定を行った。
- ・結果は、教育環境上望ましいとされている基準値を、窓を開けているときはわずかに超えるものとなった。大幅な超過ではないものの、今後長期に渡って使う建物なので、敷地の北側に建てるのが教育環境上望ましいと考える。
- ・仮設校舎については、吸音材やサッシを2枚設置する等、防音対策をしっかりと行う。

5. 体育館への空中通路の設置

<説明内容>

- ・体育館は公道を挟んで別敷地にあるが、次の理由から学校としては空中通路の設置を強く希望している。なお、設置するためには建築審査会の同意を得る必要があり、費用については、約6,500万円程度。
- ・体育館へ移動する際、道路の横断が必要になるが、休み時間等は児童自ら安全確認をして渡ることもある。万が一、事故が起きた場合、設置上の問題と指摘される可能性がある。
- ・行事の際は、保護者や来賓もスリッパで横断することになり、雨の日は特に不便。
- ・二足制のため、普段は外靴に履き替えるよう指導しているが、横断の際は上靴となり教育指導上、矛盾が生じる。また、雨天時は濡れた体育館シューズで運動することになり、非常に危険である。
- ・現在の配置計画案では、今後、給食車両が学校西側のルートを通ることになるので、現状より児童が横断する際の危険性が増す。

<質疑応答> ●=推進委員 ○=事務局

- 空中通路の件について、実際に不便等を感じているので、ぜひ設置をお願いしたい。
- 地区計画というのは、震災後、マンション等がむやみに建たないようにということで12mの制限を作ったので、公共の施設を除外することについては、理解が得られるのではないかと思う。4階建て案も選択肢の1つとして検討できればと思う。
- 今後児童が増加すれば、余計に運動場は狭くなるので、できるだけ広く取るためにもこの4階建て案には賛成。
- 運動場を広く取るためという理由があれば、地区計画を変更することに反対はない。小学校というのは災害時の避難所でもあるので、苦勞して作った地区計画ではあるが、学校に対しては特例を認めればよいと思う。
- 新校舎の教室数について、現状が23学級で、計画ではオープンスペースを転用すると36学級まで対応可能となるが、今後13学級も増えるのか疑問に思う。ただ、今後の児童増加を考えると、更地で750㎡確保の方が自由度も高いと思うので、4階建て案には賛成。

- 地区計画の一部見直しという形はどうか。
- 地区計画の見直しは難しいため、学校だけは例外的に認めていただくという、許可を得る方法をとりたい。まずは、推進委員会でご意見を頂戴してから、直接影響のある近隣にお住まいの方に、どれくらい4階に上げるかということも含めご相談しながら進めたい。その際にご理解をいただければ、4階建て案は難しいと考えている。近隣の方の意見についてはまた、この推進委員会でご報告させていただく。
- 平成31年のプール解体は9月から始まるが、運動会に影響はないのか。
- プールの場所だけの工事なので、グラウンドは全面使用できる。
- 夏祭りについて、どうしても今の計画からすると2年間はできないということか。
- 平成32、33年は難しい。平成34年については、校舎解体後、そのまま運動場の整備をしてしまうと、運動会も夏祭りもできなくなってしまうので、工事を2期にわける形をとる。夏祭り開催時期の8月1週目の時期は、例年より狭い面積ではあるが、開催自体はできるという風に考えていただけないか。
- こちらとしては、やぐらを立てなければできると考えている。例年、お店を出すにあたって、水道、冷蔵庫等を家庭科室等からお借りしているが、それは可能か。
- 西校舎、北校舎は改築が終わっている時期なので、水道やガスは使える状態ではある。ただし、運動場の面積についてはあくまで想定の工期で、実際にはそこまで運動場が確保できない可能性もある。ただ、できる範囲で調整は行いたいと考えている。
- 例年、夏祭りの際は東校舎のトイレから、電源やスピーカーのラインを引いているが、改築後はどこから供給できるのか。また、グラウンドにトイレはないのか。
- 現状は、グラウンドにトイレを設置することは検討していないが、電源供給等の件と併せて、設計段階で検討していきたい。
- 平成34年の運動会について、自校開催できるのはありがたいが、11月中旬から下旬というスケジュールは、気候の問題と、市の行事との関連を考えると、10月中旬から下旬にかけて開催できると大変助かる。
- 子供も地域の行事も大切だが、近隣の生活をまず第一に考えて工事を行って欲しい。一番気になるのはアスベストの問題で、工期を短くするために無理が生じたりしないようにしてほしい。いろいろな話があると思うが、まずは近隣や接している自治会に細かく情報を寄せていただきたい。
- 近隣にお住まいの方のご協力なくして、工事は進められないので、アスベストの件と4階建ての件については、自治会長様を通してではなく直接ご説明させていただく。
- 今回確認されたアスベストは、飛散しやすい綿状のものではなく、外壁の塗料の中に練りこまれており、ただちに飛散する恐れはない。現在、外壁塗装材に含まれているアスベストに関して、明確な除去の規定は法律上なく、そのまま解体する場合もある。ただし、1年程前に日本建築仕上材工業会から技術指針が出され、法的拘束力はないが、市としてそれに従うことを決定したため、南甲子園小学校では剥離してから解体を行った。代表的な剥離工法は、今の外壁に薬剤を塗って、元の塗料を溶かしてから削ぎ取る手法のため、理論上はアスベストが飛散しないことになっている。併せて、剥離中はアスベストが飛んでいるかの計測も行い、作業前には、労働基準監督署や、市の環境保全課にも届出を提出する。ただし、剥離は全て手作業で行うため、工期が

長くなってしまふ。

- 校舎に防球ネットがないと、球技を行う際に窓ガラスが割れる危険性がある。いくら強化ガラスだとしても不十分ではないか。敷地を囲う防球ネットとは別に、校舎本体にもネットをかけてほしい。
- 校舎に防球ネットを張ると、ボールが当たっても窓ガラスが割れる心配はないものの、校舎の中から外を見たときに、緑色のネットが見えて景色的にも良くなく、圧迫感があるというデメリットがある。最近の学校では 4mm 厚の強化ガラスを採用しているが、これを 5～6mm にする等検討している。強化ガラスは非常に硬く、尖ったものでは割れてしまうことがあるが、鈍いものが当たっても割れにくい。最近の改築校では、防球ネットを校舎に張っている学校はないので、その点も含めて詳細は設計の段階で検討していきたい。

6. 今後の予定について

次回の推進委員会は5月以降に開催する予定。今回、いただいたご意見等に対してはまた回答させていただく。